

KANAGAWA



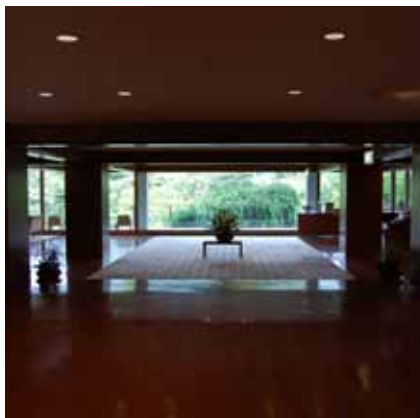
社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2012 年
4 月号

VOL.366



HP情報（会員ページ）

○平成24年4月の【フラット35】の制度変更のお知らせ(住宅金融支援機構)

○平成24年度における住宅防音事業に係る業務委託について
(南関東防衛局)



目次

①② 建築探訪

③ 会員建築作品紹介

④ 歴史的建造物を訪れて

⑤⑥ シリーズ ぶらり町並み散策

⑦ 委員長会報告
委員会活動報告

⑨ シリーズ建築Q & A
会員の広場

⑨ 賛助会員紹介
旅のクイズ

⑩ 事務局便り
編集後記

箱根ホテル小涌園

県西支部 松井 正



町二の平に位置し、吉村氏が51歳になった1959年に竣工した建築で戦後初めての大規模リゾートホテルで比較的初期の作品と位置づけられる。何回かの改修を重ねて当時と変えられている部分も多くあるが既に50年を経ており、現在も使われ続けている。

平面（＝プラン）はコの字の両サイドを開くように折り曲げられ、宿泊者のプライバシーをできる限り確保される事と高低差のある敷地になじませる様に計画されている。このような折れ曲がった平面形は住宅でも度々吉村作

今回の建築探訪に取り上げさせていただくホテル小涌園の設計者は吉村順三氏である。吉村氏は設計された建築に他の建築家のように自分の作品に対する思想やコンセプト等を言葉としてあまり残していない。学生時代から新しい空間構成やコンセプトをつくる事が建築を設計する上で重要な事であると考えていた私にとっては、吉村氏の設計された作品にはあまり興味を持つことはなかったが、ここ数年は吉村氏がつくられてきた作品に非常に惹かれている。実際につくられた作品を見学させていただいた際には、空間の心地よさに惹かれ、そこに長居したくなるような気分

になると同時に空間の流動性に魅了される。そこには設計主旨や説明は全くの無用のモノとなり、プロポーションの良さは言うまでもなくヒューマン性に満ちあふれた空間の重要性を再認識する。

ホテル小涌園は足柄下郡箱根

品として登場しているが、一般建築ではホテルジャパン下田（1986年竣工）はホテル小涌園のプランの拡張版とも言えるようなプランで、視線の広がりを感じられるようになっていく。

建物の構成はいたってシンプルである。前面道路及び駐車場と接続するメインアプローチ階になっている5階にはフロント、ラウンジ、喫茶コーナーが緩く曖昧な領域を形成しながら、ほぼワンルームの大きな空間を形成している。竣工当時の写真を見ると、吉村事務所で手掛けた家具が一層空間を豊かにしていた事が想像されるが、残念ながら家具は新調されている。しかし空間の骨格は生かされており、特に興味をもったところは、新たに新設された風除室を抜けると視線は奥の庭に向けられ、しだれ桜がむかえてくれ、左手方向にはフロントがありそのすぐ近くには上下階へのアクセス動線のための階段とE Vのコアがあり動線のスムーズさを可能にしている。

ホテルの主要階である5階の上下階は宿泊室になっていて店舗等のパブリック部門と宿泊





部門が混在する3階部分ではE Vと共用階段のコアを境に西側に店舗等のパブリック部門、東側に宿泊分を明確にゾーニングしていて動線の交差を避けられている。

宿泊室の方に目を向けると、開口の取り方に対する吉村建築の良さを感じる事ができる。中央の大きな窓がF I Xでピクチャーアウンドーとなっていて自然を切る役目を担い、両側の2つの窓が開放され換気を担う3連窓になっている。

この建築には遊び心が感じられるところもあり、敷地の勾配に合わせて深さ1mから3mのプールを設け、プールの水を使いナイトサロンの間接照明のような効果的な使い方をしている。

前回の建築探訪でも少しふれさせていた

いたが、簡単に解体して場所性を無視した箱物の建築が増えている現状は、お金の問題が多くをウエイトを占めるが、建築を業とする者にとってはやはり避けては通れない事だと思う。現状ある建築の良さをきちんと踏まえてリノベーションしていく事は大変難しいことであるが、その方法を模索して残していく事が大切ではないかと思う。

◆建築データ（竣工時）

延面積：12046.80㎡

構 造：鉄筋コンクリート構造、
鉄骨鉄筋コンクリート構造

階 数：地上8階建

2



表紙のことば

私にとって吉村順三氏の建築は、例えれば推理小説を読む感じです。

あえて文学小説と書かなかったのは詳細図を含めた図面から実物の良さを紐解いていく事と推理小説を読み解く事が似ているからだと思えるからです。

会員建築作品紹介

「かながわの木が香る三井杉田台自治会館」

大和綾瀬支部 有限会社相原聡建築設計事務所 相原 聡

このたび「住・緑・家」設計者選コンペシステム
第3番目の物件がめでたく竣工いたしました。

神奈川県森林整備加速化・林業再生事業補助金、横浜市自治会館整備費補助金を利用し、地球環境に配慮、高齢者に優しく、地震につよく、街のシンボルになる、地域活動と防災安全の拠点の会館の計画を自治会と2年に渡る協働の末竣工にいたりました。

神奈川県産木材を全体の90%以上使用した木造の会館です。立方体フレーム、通し壁、壁柱による安心な耐震構造、回遊性のあるギャラリー、空が近いホールに、かながわの木が香る自治会館を是非ご覧ください。

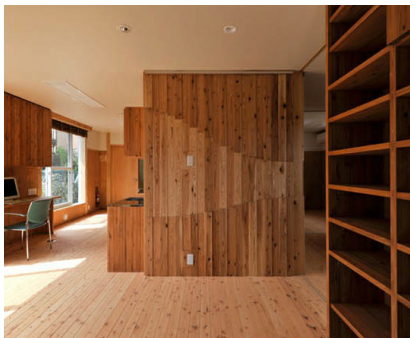
＜計画概要＞

- ・所在地：横浜市磯子区田中1-1-27
- ・建物用途：自治会館
- ・構造規模 木造在来工法 2階建て
- ・敷地面積 162.93㎡
- ・建築面積 77.61㎡
- ・延床面積 150.20㎡ 1階72.75㎡ 2階77.45㎡
- ・建築主 三井杉田台自治会 約450世帯
- ・設計監理 有限会社相原聡建築設計事務所
- ・構造設計 有限会社荒谷建築設計事務所
- ・施工 小泉木材株式会社

3



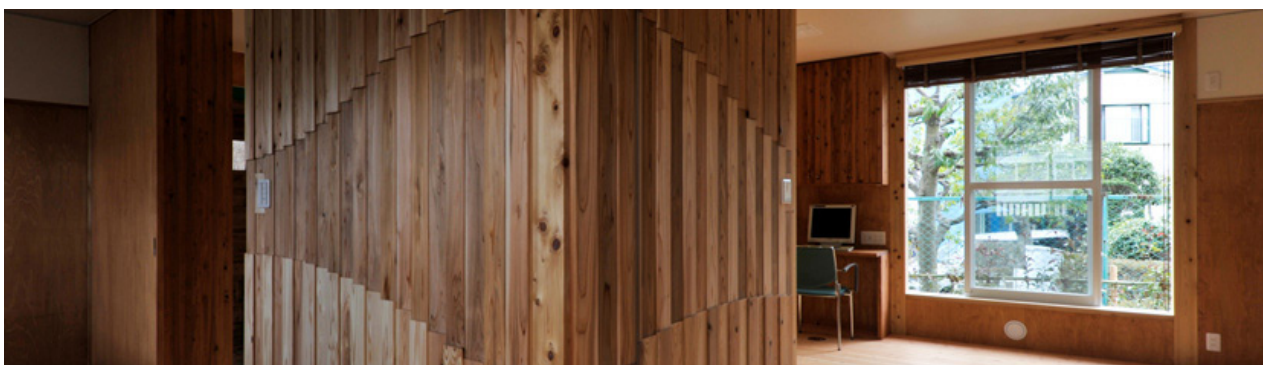
・南側公園からアプローチ風見鶏が目印



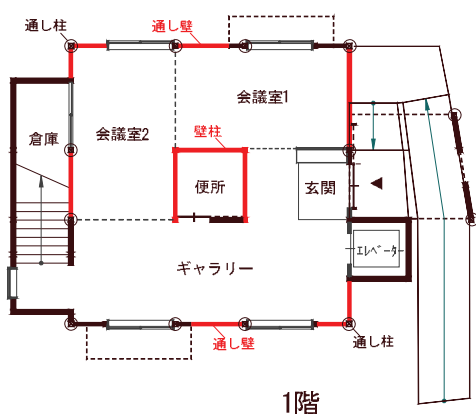
・1階玄関 かながわの杉が香る壁柱の造形



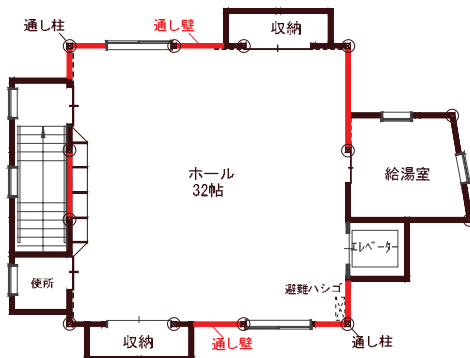
・2階 県産木材初のミナ集成材の大梁



・1階回遊性のあるギャラリーの広がり



1階



2階

・偏心がない正方形、通し壁、壁柱による普及型の安心構造プラン



・外壁も県産杉板

写真撮影：興水進

～歴史的建造物を訪れて～

Vol.52

蔵 <防災の知恵袋>

横須賀支部 若命 陽子

幕末の1814年に若命家記録を見ると長屋門と続きに土蔵が存在していた事がわかる。三浦半島西部地域に位置して白漆喰の塗籠の長屋門は、当時茅葺だった。茅葺を瓦葺きにして塗籠に改修されたのは1903年（明治36年）である。関東大震災の1923年を無事くぐりぬけ現在に至る。

長屋門及び隣接する郷蔵（土蔵）は耐火を強く意識した建物です。

関東大震災までの三浦半島の地域災害の様子をみると街の発展と人口の増加と共に大火災が頻繁に起きた記録がある。耐火性を認識した、土蔵のデザインを特に取り上げてみた。



若命長屋門と郷蔵（三浦半島西）

土蔵

柱は通し柱（4.5寸角）を3尺置きに立て、貫で繋ぐ。外壁はコマイをかけた上に土を塗る。土壁の厚さは15～30cmその上を漆喰で仕上っている。屋根は土居葺き瓦である。

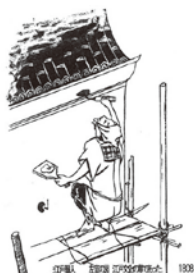
近村には「オキヤネ」の土蔵もあります。オキヤネは屋根裏換気が良くして高温高熱を室内に伝えぬ役もありますが、火災時には着火と見ると、壁面の折れ釘に縄をかけてよじ登り、オキヤネの固定縄を切り屋根を地上に落とせるようにしてあります。

日影茶屋の
オキヤネの蔵（葉山）

又屋根と室内間が防火スラブ（土塗り）になり、燃えても内部への影響は少ないのです。

鉢巻（台輪）

軒を短くして軒裏周りを鉢巻のように土壁下地漆喰仕上げとして、火災事に延焼を抑える為に熱を屋根上に逃がすデザインとなる。



江戸の花形 左官職人

折れ釘（L=10尺）

非常事には、折れ釘に梯子や縄をかけ屋根に登った。

又潮風や暴風雨から保護する為に壁の外側に羽目板壁を組み立てるのに必要でした。

物置などの増築時には柱の組み立てに利用しました。



蔵の折れ釘

つぶ（折れ釘根元の饅頭型の塗物）

折れ釘利用のさい、材が漆喰壁から離れ壁の汚れを防ぎ、釘の根元を止めている。

ジャバラや煙がえしのある開口部

扉と扉のあわせ・窓枠と扉のあわせが蛇腹になっている。

出入り口（戸前）敷石が一段高くなり煙返石となる。

煙や炎が入らないように処理されている。すべての開口は防火扉となる



開口戸の蛇腹

三浦半島の火災の歴史は街の成立と共に多くなった。

1889（明治22年）横須賀線開通・

横須賀汐入大火362戸全焼・

1890（明治23年）

横須賀で大火839戸焼失

1891（明治24年）

三崎町の大火200戸余焼失

1893（明治26年）三崎・逗子海水浴

客急増・御用邸落成

1894（明治27年）

佐島で大火80戸全焼・

1897（明治30年）深田町火災77戸全焼

1901（明治34年）

三崎町大火200戸焼失

1903（明治36年）

若命長屋門漆喰塗籠・瓦にする。

入船・日の出（三崎）158戸焼失

1907（明治40年）

横須賀若松町火災95戸焼失

1909（明治41年）大滝町若松町大火

200戸焼失

1914（大正3年）西野焼失92戸

1917（大正6年）花暮・沖崎・入船・

日の出（三崎）の大火焼失358戸

1922（大正11年）地震により観音崎

灯台大亀裂

1923（大正12年）関東大震災・

横須賀の町一面の焼け野原となる。

4,700戸焼失・全壊7,227戸・半

壊2,514戸

+1.0から+1.4の地盤直変動あり。

津波の高さ4.5m～6.0mの記録

が残る

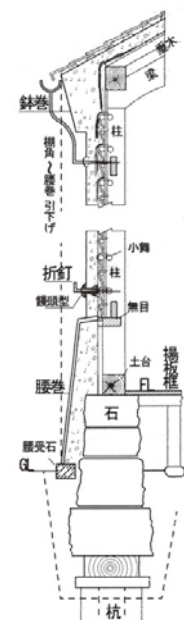
震災後、道を広げる。など防災

に強い街づくりをはじめる。

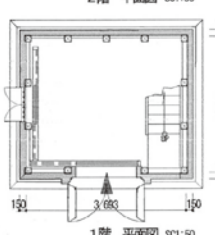
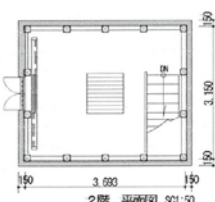
参考文献／三浦半島—その歴史

と文化＜下＞郷土

出版社



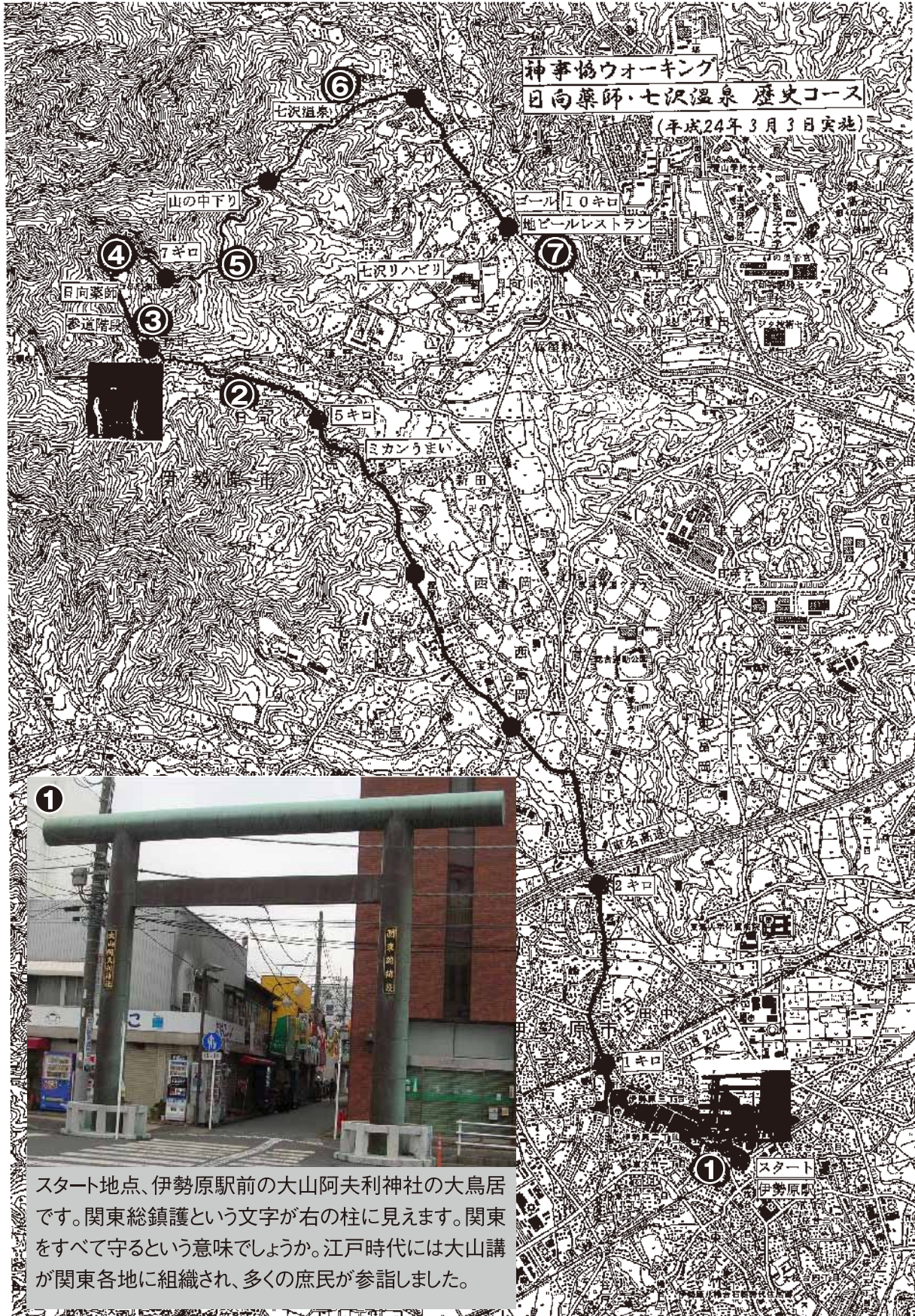
部分断面図 SC1:25

吉田包竹記念館の蔵
（横須賀に移築予定）

町並み散策ばらり in 神奈川

日向薬師・七沢温泉

(3月3日開催 神事協ウォーキングより)



スタート地点、伊勢原駅前の大山阿夫利神社の大鳥居です。関東総鎮護という文字が右の柱に見えます。関東をすべて守るという意味でしょうか。江戸時代には大山講が関東各地に組織され、多くの庶民が参詣しました。



日向薬師の入口から見た大山です。2,3日前に雪が降って、白く輝き、青空を背景にして、「南アルプスみたいだ」なんて声も聞かれました。



日向薬師の薬師堂です。日向薬師は、奈良時代初頭の西暦716年に僧行基によって開創されたと伝えられる日本三薬師の一つ。源頼朝、北条政子なども信仰を寄せました。鉦彫の本尊薬師如来三尊像を始め、薬師如来像・阿弥陀如来像・四天王・十二神将など25点の国の重要文化財があります。なお、薬師堂は平成23年から7年間の大修理を行っています。



七沢温泉
山裾の斜面に閑静なたたずまいをみせる旅館が建ち並び、ひなびた情緒をかもし出しています。源泉は強アルカリ泉。写真は七沢荘の露天風呂。



日向薬師参道の最初の階段での集合写真です。ここから急な石段や苔むした岩道を約15分ほど歩くと日向薬師の本殿に至ります。急坂を前にしても皆さんなぜか楽しそうです。



樹齢数百年という大木の鬱蒼とした森の中で、途中に石仏などがある落ち着いた参道です



日向薬師から七沢温泉までの約3キロの山道です。山が深く猿も見かけました。落葉樹がほとんどで、新緑や紅葉の頃に歩いてみたいところです。下り道なので皆さんの歩く姿にも勢いがあります。



ゴールのビールレストラン「セルバジーナ」で工場できたてのビールで乾杯。季節限定「さくらビール」の香りと喉ごしに一斉に「うまい!!!」の歓声。できあがった面々です。



第5回（社）神奈川県建築士事務所協会 委員長会概要

開催日時：平成24年3月8日（木）14：00～17：30

会 場：神事協2F会議室

出席者：15名 事務局2名 計17名

○上原会長 挨拶

○小林副会長 議事進行

1. 来年度の委員会スケジュールについて
各委員会から提出された年間スケジュールを確認
2. 各委員会における会員増強への取組みについて
各委員会からの増強案および日事連ワーキンググループでの取組みについて
3. 24年度予算案の報告について
来年度の予算修正案について

4. 各委員会からの検討依頼事項について
 - ・神事協地引網大会（5月12日）開催に関する協力依頼について
 - ・当会作成資料（仕様書、ソフト等）の取り纏めおよび改訂時期の長期計画策定について
 - ・阪急交通社との提携に係るガイド行為協力依頼について
 - ・各ブロックからの家づくりセカンドオピニオン特別委員候補者推薦依頼について
5. 各委員会活動報告
前回の委員長会以降における各委員会の活動について報告

※詳細は当協会ホームページをご覧ください。

委員会活動報告

東日本大震災による応急仮設住宅調査をおこなって

景観・まちづくり特別委員会 副委員長 寺本 勉

平成23年3月11日に発生した巨大地震と大津波により、多くの方が亡くなり、家を失い、避難所での生活を余儀なくされました。亡くなった方においては深い哀悼の意を表すると共に、今現在においても避難生活を余儀なくされている多くの方が、できる限り早く日常と平穏を取り戻されることを願ってやみません。

今回の調査は、岩手県、宮城県、福島県の3県を3日間かけて調査活動を行いました。まず、お伝えしたいことは被災地がいまなお非常事態の渦中であるということです。発災より一年が過ぎましたが、多くの方々が自宅での暮らしを取り戻せない状況です。（避難者数18,254人、平成24年3月1日現在、復興庁調べ、

全国）津波被害地域においては、未だに土地利用計画に基づく建設がはじまっておらず、職住そして学校教育共に苦しい状況が続いています。

調査は応急仮設住宅地7カ所の視察と、これらを含む合計12カ所へのヒアリング調査を実施しました。国や各県の動き、プレハブ建築協会や県の対応、地元の木造建設業者や設備業者との連携の仕方、公募に対する各社の取り組み、建設時の問題点や工期等様々な情報を得ることができました。

これらの持ち帰った体験と情報をできる限り検証を行い、現地への情報提供等を通じた支援活動に繋げると共に、今後も発生するであろう災害に備えて防災減災における方針・対策の一助となるように継続して活動して参りたいと思います。



建築Q&A 「耐力壁計算について」 vol.8

Q：耐力計算で小数点を切上げたり、切下げるのは何故？

A：必要壁量は大きく見るために切上げ、存在壁量は小さく見るために切下げる。
安全率を大きく見るためです。（※ギリギリは駄目ですよ！）

Q2：4分割法でバランス判定を壁量充足率と壁率比の両方を検討するのは何故？

A2：バランスを再確認するためです。（※バランス良く設計しましょう。）

会員の広場 男の料理

相模原支部 小林 忠志

2回目の掲載で今回の料理のテーマはお金がかからない冬の料理です。

1品目は焼き豆腐のかきあんかけ、2品目はひたひた大根の鳥スープ、3品目はサッパリたまねぎサラダです。以下にレシピ載せますので良かったら会員の皆様も休日に家族サービスのつもりで作って見たら如何でしょう。レシピは約4人前です。

焼き豆腐のかきあんかけ（ごはんのおかずに最適）

材 料 かき(小粒) 300g・木綿豆腐2丁・長ネギ、にんにく、しょうが適宜

合わせ調味料(スープ1カップ, 紹興酒, 醤油各大さじ1, オイスターソース大さじ2, 砂糖大さじ1½)・塩, 油, ごま油, 片栗粉

- 作り方
1. かきは良く洗って酒, 胡椒で下味(もみこむ)をつけ片栗粉をまぶしておきます。
 2. 豆腐は塩少々をふり、水気をとり1丁を6枚に切る。
 3. 油、ごま油で片栗粉をまぶした豆腐を焼き色がつくまで焼き器に取出す。
 4. ネギ、しょうが、にんにくを炒め、香りが出たらかきを炒め合わせ調味料を加え最後に水とき片栗粉でとろみを付け、豆腐にかけて完成です。

ポイント 片栗粉を少なめにまぶす。醤油は少しづつ入れて味を調整する。炒めは手早く。

ひたひた大根の鳥スープ(大根を味わう料理です。)

- 作り方
1. 鶏ガラ(香味野菜と一緒に)でゆっくり(5時間程度)スープをとる。
 2. 厚く輪切りにした大根と骨付鳥肉(手羽先など)と一緒に弱火に30~40分かけて塩、胡椒で味を調え完成です。
アサツキなど散らすと見た目が良い。

ポイント スープに使う鶏ガラは良く洗う。
弱火で時間を掛けないとスープが白濁する。
アクと浮いた油は丹念に取る。大根は面取り切込みを入れ事前に茹でておくと味が良く染み込む。骨付鶏肉は事前に炒め余分な油をとる。こうすることでさっぱりとした仕上りになる。

サッパリたまねぎサラダ

材 料 玉葱中1個、かいわれ1パック、トマト1個、ツナ缶1、きざみ海苔、中華ドレッシング(市売品でも良い)

- 作り方
- 玉葱は薄くスライスして水でさらす。
トマトはさいころ切りにしておく。
器に玉葱、かいわれ、ほぐしたツナの順にのせ廻りにトマトをあしらい、最後にたっぷりときざみ海苔をふりかけて完成。
- ポイント 野菜は完全に水気を切る。ドレッシングは食べる直前にふる。



賛助会員紹介

郡リース株式会社横浜支店

担当者：鈴木 稔

所在地：〒231-0062

横浜市中区桜木町3-8 横浜塩業ビル

T E L : 045-662-8541 F A X : 045-640-1680

弊社は、設計・施工・リースそれぞれの機能を持ちあわせている会社です。

扱う商品は「システム建築(規格建築)」です。これは、建物を構成する部材や納まりを標準化することで、作業効率の向上を図り建築生産プロセスをシステム化した工業化製品です。

特徴は低価格・短工期・等品質で様々な用途で採用されています。

例えば、仮設的なものでは、モデルルーム販売事務所や仮設庁舎・耐震化による仮設学校又、恒久的なものでは、事業所の事務所・工場上屋・物流倉庫・農業低温倉庫・寮施設そして教育施設の体育館・校舎・武道場・部室・児童クラブ・幼稚園・保育園と様々です。

今後は、会員各位様のご指導を頂戴しながら、様々な情報を発信できればと思います。

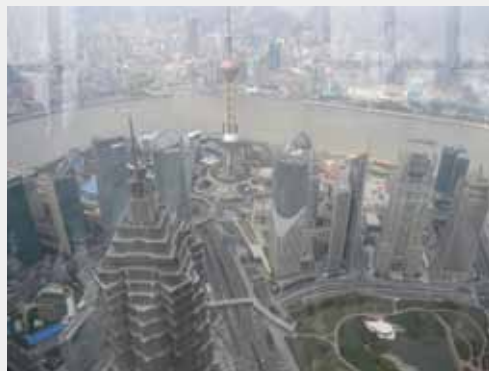
どうぞ、宜しくお願い申し上げます。



? 旅のクイズ 第21回 ? ? ?

問題

撮影ポイントに関する問題です。この場所の高さは(m)および階数は何階でしょうか。建物の名称とあわせてお答えください。



答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。

正解者の中から抽選で御一人に1000円の図書券を差し上げます。

(FAX: 045-212-3807)

E-mail: noguchi@j-kana.or.jp)

※締め切り：平成24年4月20日(金)

当選者は5月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。

第20回(3月号掲載)の当選は下記の通りです。

正解：左内坂

当選者：川崎支部

(株)成建 土屋 広行 様

4月の行事予定

4月3日	広報情報委員会
7日	「住・緑・家」利用物件「三井杉田台自治会館」見学会
11日	設計監理指導委員会
12日	総財務委員会
17日	会計監査・監査会
19日	技術調査委員会
20日	カネシン開発試験センター・耐力壁試験見学会(会場:カネシン開発試験センター)
	企画業務委員会
	木造特別委員会
24日	ブロック支部委員会
25日	「住・緑・家」運営特別委員会
26日	正副会長会
	政研役員会
	理事会

会員異動報告	
入会	
横浜支部	
(株)オール級建築士事務所 〒231-0843 横浜市中区本郷町3-261 ベイサイドビル山手B棟103 TEL045-624-2209 FAX045-624-2209	王永 慎一
和総合設計一級建築士事務所 〒220-0051 横浜西区中央2-10-5 TEL045-321-3299 FAX045-324-6919	王子 和臣
(有)宇郷建築設計事務所 〒221-0804 横浜市神奈川区栗田谷6-51 TEL045-321-3299 FAX045-324-6919	藤山 由美子
横須賀支部	
久保田建築店二級建築士事務所 〒238-0043 横須賀市坂本町3-20 TEL046-826-2498 FAX046-826-2498	久保田 貞吉
鎌倉支部	
たなはしゆか建築設計アトリエ 〒248-0011 鎌倉市扇が谷4-10-5 TEL0467-50-0095 FAX0467-50-5957	棚橋 由佳
座間支部	
(株)ユニバーサル・エンターテイメント一級建築士事務所 〒252-0015 座間市南栗原3-7-1 TEL046-254-5957 FAX046-254-5957	湯浅 範人
海老名支部	
合同会社ウッドワークス一級建築士事務所 〒243-0405 海老名市国分南1-3-1 メゾンエクセル102 TEL046-236-1941 FAX046-236-1942	葛野 耕司
県西支部	
おかむら屋建築工房 〒256-0815 小田原市小八幡3-17-13 TEL0465-47-7933 FAX0465-47-7933	岡村 健二郎
(株)樹工務店二級建築士事務所 〒250-0045 小田原市城山4-23-16 TEL0465-23-8757 FAX0465-20-8448	山田 広樹
一級建築士事務所T'zプランニングオフィス 〒259-0313 足柄下郡湯河原町鍛冶屋607-86 TEL0465-62-1812 FAX0465-62-1812	篠原 敏也
退会	
横浜支部	
鹿島建設(株)横浜支店品質監理一級建築士事務所 (株)蔵王設計 かながわ建物保全(株)	小吹 幹夫 井上 太一 西野 昇
横須賀支部	
(株)金子総合設計	金子 傑
座間支部	
島村建築事務所	島村 俊明

変更

横浜支部

(株)ウィズ・ハウスプランニング
(会員名) 伊藤 祐滋

川崎支部

studio M'z
(TEL・FAX) TEL03-4570-0811 FAX03-6680-8502

(株)マックス
(会員名) 佐々木 正義

山本 武志

一級建築士事務所 Atelier KYU
(支部変更) 藤沢支部 〒251-0027 藤沢市鶴沼桜が岡3-12-18
TEL0466-25-2423

相模原支部

富田 雅之

TERRA建築デザイン工房
(事務所名) (株)TERRAデザイン一級建築士事務所

賛助会異動報告

入会

(株)ダイフレックス 横浜営業所
〒220-0023 横浜西区平沼1-1-3 横浜オーシャンビル9F
TEL.045-290-9761 FAX.045-290-9755
【代表者】篠原 大 【担当】角田 裕輔
【業種】建築及び土木防水、外装材、塗床材製造販売

(株)サンゲツ 横浜支店
〒231-0032 横浜市中区不老町2-9-1関内ワイズビル
TEL.045-664-3111 FAX.045-664-3303
【代表者】古川 祥 【担当】杉原 賢一
【業種】内装材(壁材・床材)カーテン等の販売

会 勢

平成24年4月1日現在

支部名	平成23年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	270	275	14	9	5
川 崎	91	98	11	4	7
横 須 賀	55	52	3	6	-3
湘 南 三 浦	21	18	0	3	-3
藤 沢	22	22	1	1	0
鎌 倉	32	36	5	1	4
茅ヶ崎葉川	16	18	2	0	2
平 塚	21	21	2	2	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
秦 野	18	18	0	0	0
大和綾瀬	22	20	0	2	-2
厚 木	37	36	1	2	-1
座 間	13	13	2	2	0
海 老 名	13	15	2	0	2
愛 川	9	7	0	2	-2
相 模 原	88	83	2	7	-5
県 西	49	47	4	6	-2
合 計	785	787	52	50	2
賛助会員	68	74	13	7	6

編集後記

「町並み散策ぶらりin神奈川」の執筆をかねて、何気なく見逃していた地元を散策する機会を得、今まで知らなかった身近な文化や歴史を発見し、また現在を再考することで、新たな横須賀の未来を考えるきっかけとなりました。

東日本大震災による復興の緊急性・安全性が必要とされる中で、自然に対してはある程度「しのぎ」ながら、その土地に根づいた歴史や文化を継承し、後世に受け継がれる地域性を持ったまちづくりに期待しています。合掌

(横須賀支部 小泉 厚)

かながわ 平成24年4月号 (通号366号)

発行	平成24年4月1日 (毎月1日発行)	担当副会長	芝 京子
発行人	上原 伸一	広報情報委員長	佐藤 光良
発行所	社団法人 神奈川県建築士事務所協会 〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F TEL. 045-228-0755 FAX. 045-212-3807	広報情報副委員長	内藤 隆之
印刷所	株式会社 柏苑社	広報情報委員	稲葉 勉
			北野 義夫
			杉崎 雅治
			竹尾 秀一
			野口 友弘
			恩田 耕爾
			小泉 厚
			高橋 保博
			新倉 良一
			坂本 歩美

本誌掲載記事の内容は執筆者本人の見解において記述・掲載をしております。
神事協としての見解ではございませんのでご了承下さい。

Speedy

充実のサービス

業務のご案内

建築確認
検査業務

住宅瑕疵担保
責任保険

適合証明
フラット35

省エネラベル
建築物調査

住宅
エコポイント

性能評価
長期優良住宅

◎迅速で確実な審査を致します。

移動時間や待ち時間が無くなり効率的です。
電子メールによる事前審査も活用いただく事で安心して申請が行えます。
※確認済証の返送は窓口でご相談ください。

◎電子メールによる事前審査受付を行います。

事務所で事前審査を受けられますので時間に無駄がありません。
郵送による本申請と組み合わせる事で事務所に居ながらにして建築確認の申請が可能になります。
※四号戸建住宅に限ります。

◎郵送による確認申請書の受付・交付を致します。

移動時間や待ち時間が無くなり効率的です。
電子メールによる事前審査も活用いただく事で安心して申請が行えます。
※確認済証の返送は窓口でご相談ください。

◎検査予約は電話・FAXで3日前まで受付致します。

緊急の場合はご相談ください。
検査予約専用ダイヤル 電話.0463-22-0704 FAX.0463-22-0691
(基準法中間・完了検査/フラット35中間・完了現場検査/瑕疵担保責任保険基礎配筋・躯体等検査/建設住宅性能評価現場検査)

◎ビジネスパートナーとして最適なアドバイスを行います。

ご希望があれば業務及び法改正、条例改訂等に関して説明会・研修会の講師をお受けします。
確認申請から瑕疵保険まで業務に必要な手続きを一括してお受けします。
御社の業務内容に最適なご利用方法をご提案いたします。

進行状況
確認サービス
START
WEBから確認申請の
進行状況が確認できます
スマートフォン
対応

業務に関するお問合せ
0463-22-0332

本社(平塚)

〒254-0035

神奈川県平塚市宮の前13-3

電話.0463-22-0667(代表)

検査予約専用ダイヤル

電話.0463-22-0704 FAX.0463-22-0691

確認審査部直通ダイヤル

電話.0463-22-0311 FAX.0463-22-0884

住宅部直通ダイヤル

電話.0463-22-0671 FAX.0463-22-0869

総務部直通ダイヤル

電話.0463-22-0332 FAX.0463-22-0334

●営業時間/9:00~18:00(昼休12:00~13:00)

●定休日/土曜・日曜・祝日・年末年始

【JR東海道線平塚駅より徒歩6分】



横浜支店

〒220-0004

神奈川県横浜市西区北幸2-6-1 横浜APビル 7階

電話.045-548-6606 FAX.045-548-6626

●営業時間/9:00~18:00

(昼休12:00~13:00)

●定休日/土曜・日曜・祝日・祭日・年末年始

【横浜駅みなみ西口より徒歩5分】



駐車場
完備



ビル、西側の「横浜OBS北幸C駐車場」をご利用ください。
駐車料金は当社が負担いたします。(当初30分間)

駐車場
完備



建物道路沿いに5台、別に臨時駐車場有ります。
詳しくはホームページをご覧ください。

SBC

SHONAN
BUILDING
CENTER

株式会社 湘南建築センター